

三洋貿易株式会社

2013年9月期決算説明資料

2013年11月28日



目次

第一部 2013年9月期連結決算実績

第二部 2014年9月期連結業績予想

第三部 中長期戦略

APPENDIX 会社説明資料

第一部

2013年9月期連結決算実績

2013年9月期 サマリー

- 4期連続増益、最高益更新
- 自動車シート用部品、自動車関連原材料の好調
- ASEAN(タイ)の好調
- エネルギー・海洋資源開発に関する資機材の好調(コスモス商事)
- 実質無借金経営へ
- 上場記念配合む30円配当

2013年9月期 連結決算実績

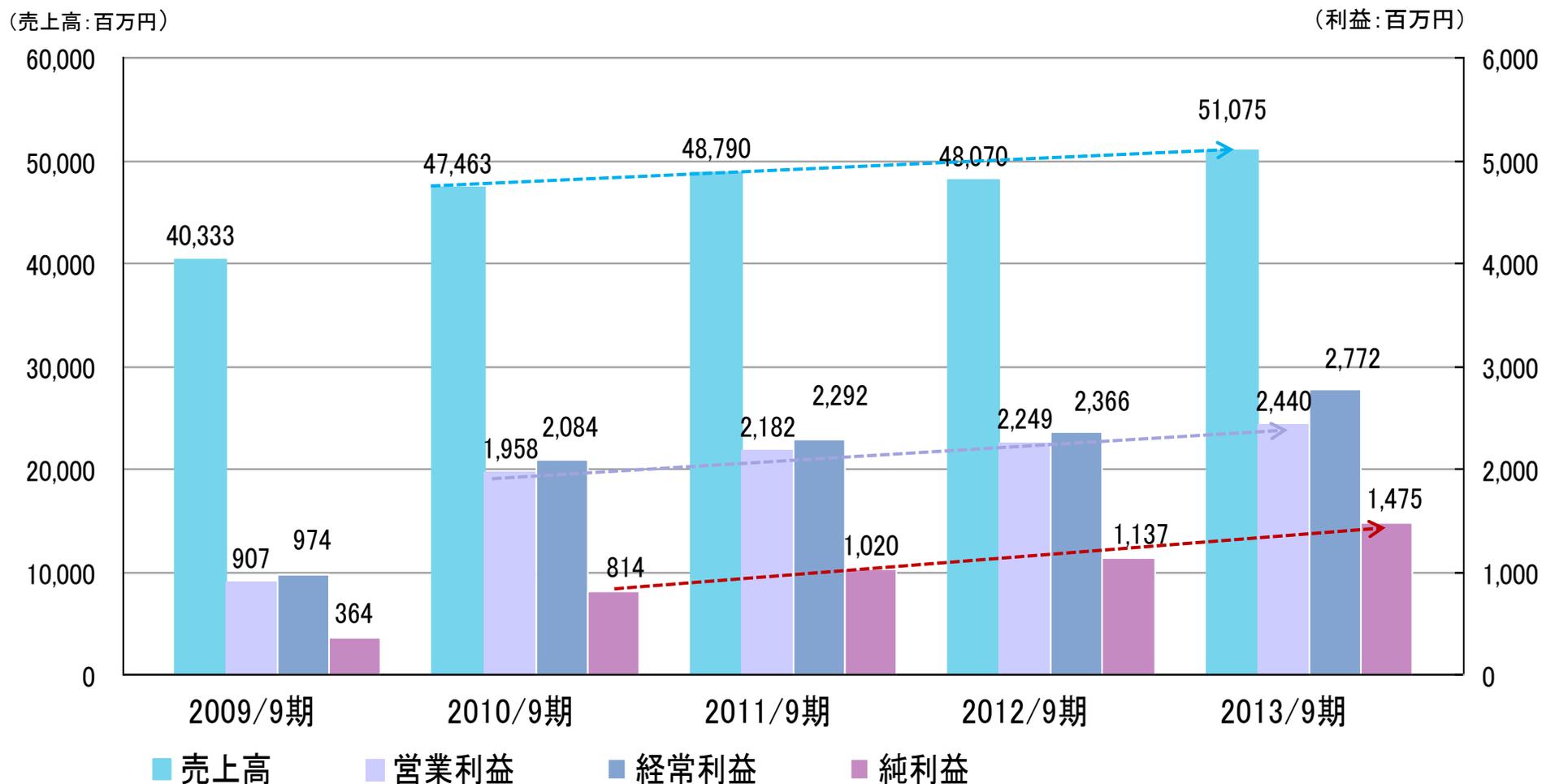
- 増収効果と販管比率の低下が貢献

(単位:百万円)

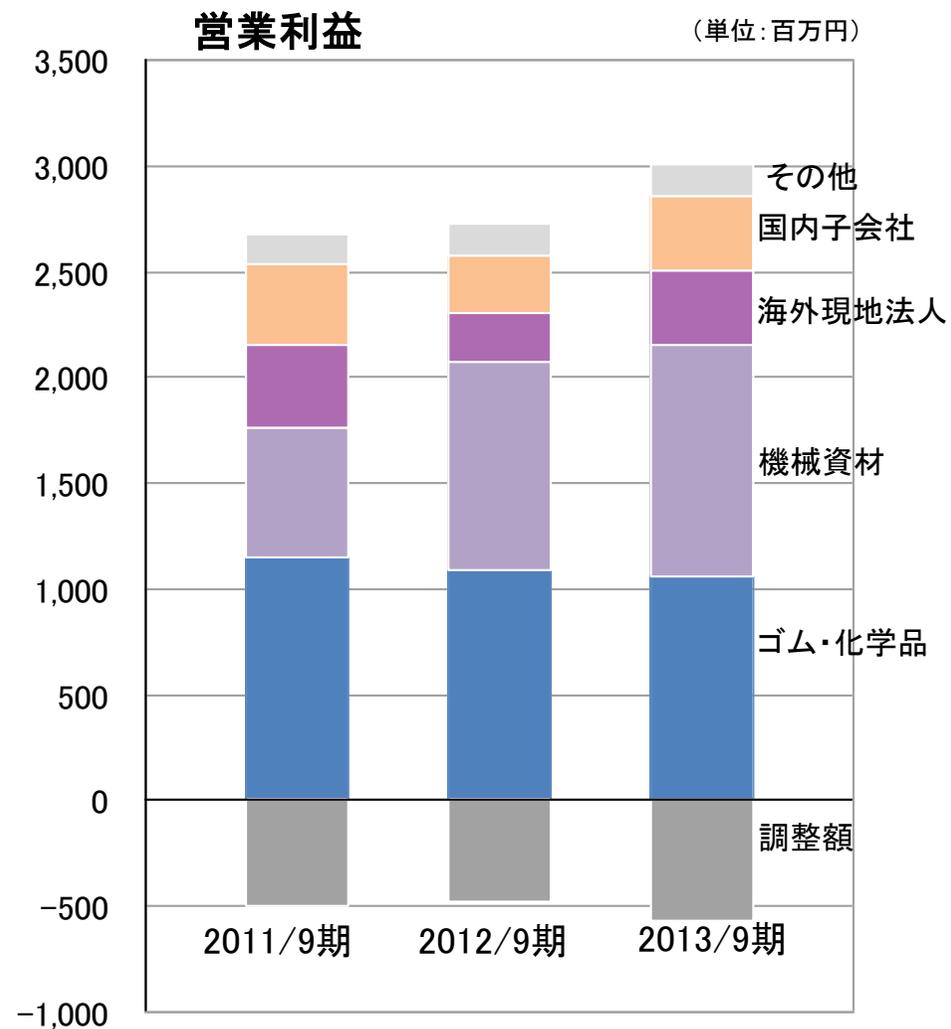
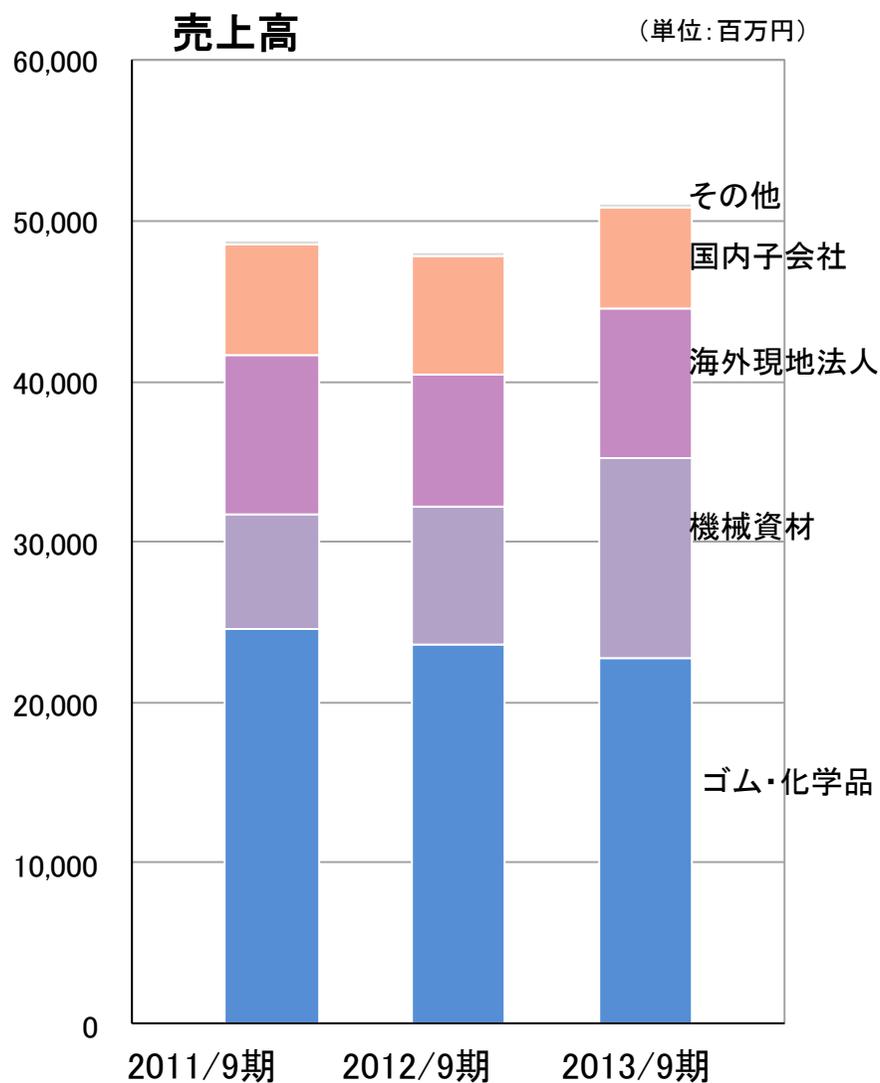
	2012年9月期			2013年9月期		
	金額	構成比(%)	前期比 増減率(%)	金額	構成比(%)	前期比 増減率(%)
売上高	48,070	100.0	△1.5	51,075	100.0	6.3
売上総利益	7,460	15.5	1.9	7,671	15.0	2.8
販売費及び 一般管理費	5,211	10.8	1.5	5,230	10.2	0.4
営業利益	2,249	4.7	3.1	2,440	4.8	8.5
経常利益	2,366	4.9	3.2	2,772	5.4	17.2
純利益	1,137	2.4	11.5	1,475	2.9	29.7

売上・利益推移

- 2011年9月期はゴム・化学品、2012年9月期および2013年9月期は機械資材セグメントが好調
- 安定成長を継続



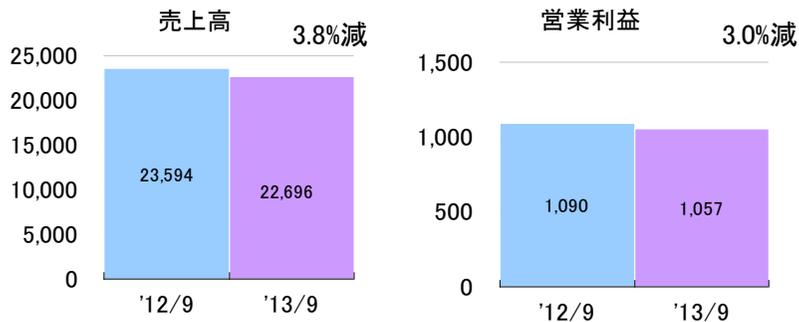
セグメント別 売上・営業利益推移



2013年9月期 セグメント別 売上・利益の変動要因

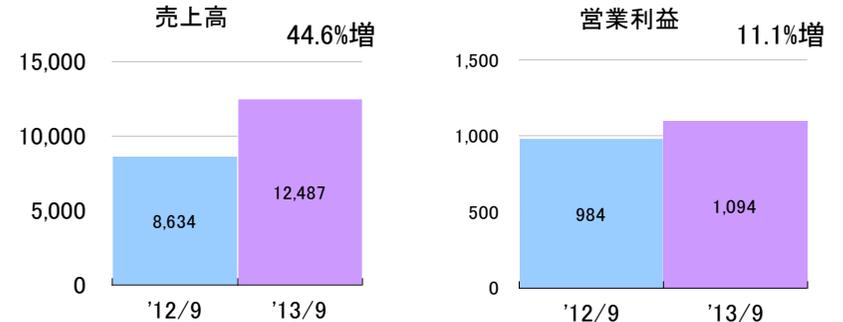
(単位:百万円)

<ゴム・化学品>



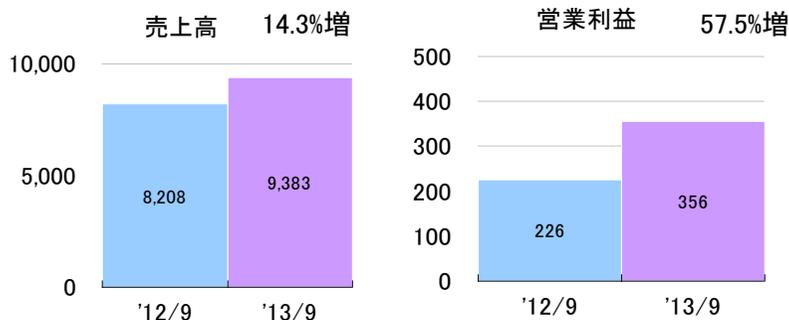
- ◆自動車関連向け合成ゴム・副資材、塗料・添加剤は堅調に推移
- ◆家電・OA機器関連や住宅建材関連用原材料は低調

<機械資材>



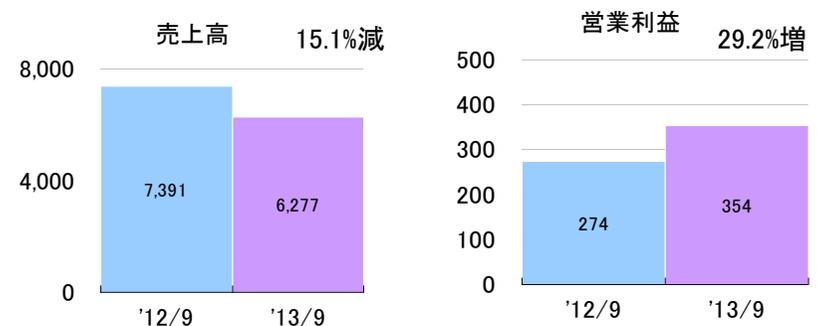
- ◆自動車シート用部品およびシート機能部品用原材料が好調
- ◆各種分析器・試験機器が好調に推移
- ◆飼料用加工機器も堅調

<海外現地法人>



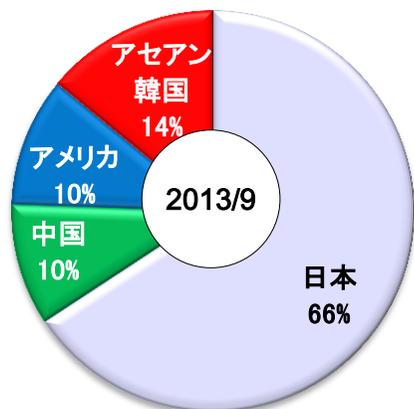
- ◆サンタップ(タイ)はゴム関連を中心に好調
- ◆三洋物産貿易(上海)は尖閣問題の影響を受けたが後半に回復
- ◆SCOA(米国)は自動車シート用部品や吸水性樹脂が堅調

<国内子会社>



- ◆コスモス商事は資源・環境関連全般に好調
- ◆ケムインターは液晶・半導体関連の売上が低迷したが化学品が好調
- ◆アロマンは業界不振から低調に推移

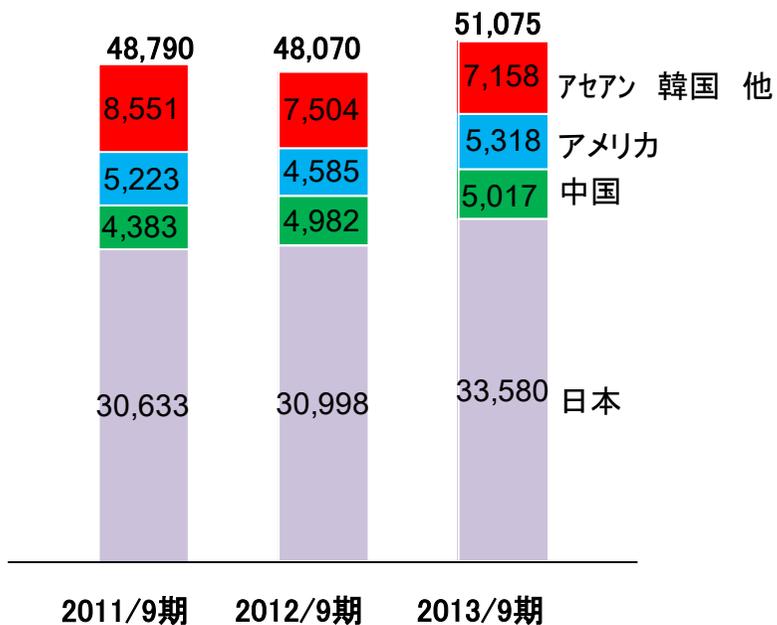
地域別 売上推移



(単位: 百万円)

	地域別実績		
	2013年9月期		
	金額	構成比 (%)	前期比増減率 (%)
日本	33,580	65.7	8.3
中国	5,017	9.8	0.7
アメリカ	5,318	10.4	16.0
その他	7,158	14.0	△4.6
合計	51,075	100.0	6.3

(売上高: 百万円)

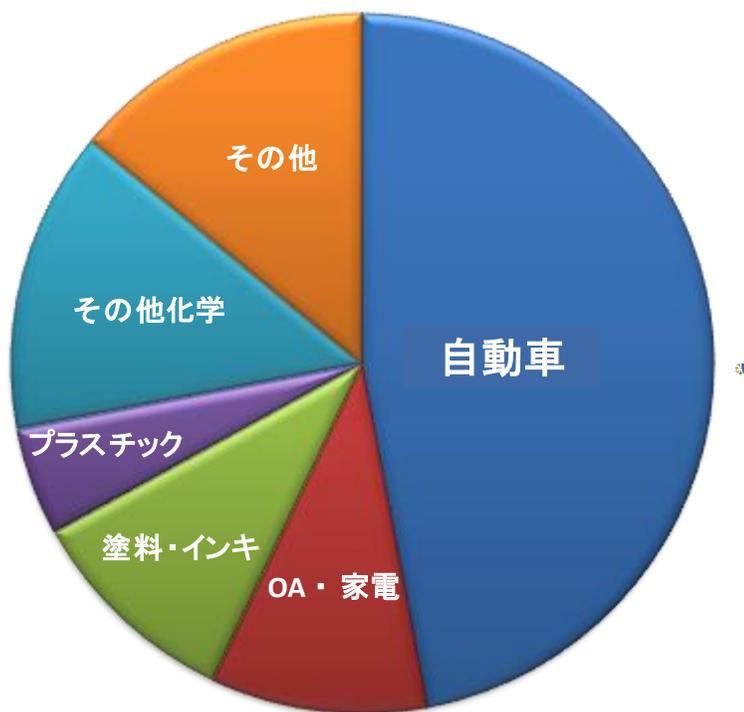


変動要因

- 日本: 自動車関連部品を中心に好調
家電・情報機器向けは低調
- 中国: 前半自動車関連が低調も、後半持ち直し
- アメリカ: 自動車関連部品と高吸水性樹脂が好調
汎用フィルムは低調
- その他: タイはゴム関連を中心に好調も、韓国向け電子部品等が低調

業界別・販売先別・売上構成比

2013年9月期（単体ベース）



主な販売先（単体ベース）

- 1 トヨタ自動車
- 2 トヨタ紡織
- 3 LIXIL
- 4 東海ゴム工業
- 5 WET AUTOMOTIVE SYSTEMS
- 6 日本発条
- 7 横浜ゴム
- 8 KYB
- 9 藤倉ゴム工業
- 10 ブリヂストン

2013年9月期 連結貸借対照表①

(単位:百万円)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減要因
流動資産	18,740	20,038	1,297	
現金及び預金	1,739	1,818	79	
受取手形及び売掛金	11,674	11,958	284	機械資材(セ)の売上増
たな卸資産	4,675	5,198	522	機械資材(セ)の売上増
その他流動資産	651	1,062	410	
固定資産	4,464	5,143	679	
有形固定資産	2,065	2,100	35	
無形固定資産	231	72	△158	
投資その他の資産	2,167	2,970	827	
投資有価証券	1,423	2,251	802	保有有価証券の時価上昇
資産合計	23,204	25,181	1,977	

2013年9月期 連結貸借対照表②

(単位:百万円)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減要因
流動負債	10,014	8,692	△1,322	
支払手形及び買掛金	6,181	6,699	518	
借入金	2,467	780	△1,686	銀行借入返済
その他流動負債	1,366	1,211	△155	
固定負債	1,017	1,150	132	
長期借入金	50	50	0	
その他固定負債	967	1,100	132	
負債合計	11,032	9,842	△1,189	
株主資本	12,084	14,343	2,259	上場に伴う新株発行等
その他の包括利益累計額	△221	556	777	
少数株主持分	310	438	128	
純資産合計	12,172	15,338	3,166	
負債純資産合計	23,204	25,181	1,977	

2013年9月期 キャッシュ・フロー計算書

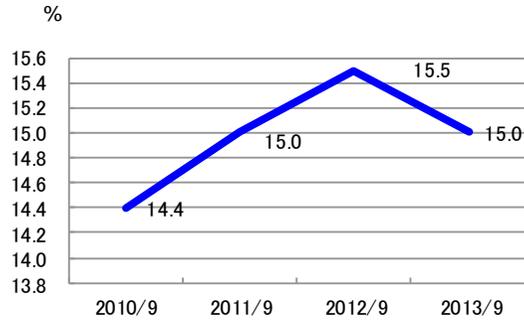
(単位:百万円)

	2012年9月期	2013年9月期	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	60	1,211	1,151	期末休日要因剥落による売上債権の減少(+895)、および増益(+490)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348	△228	119	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△290	△961	△671	借入金返済(△1,661)、株式発行(+735)、自己株式売却(+553)、および配当金支払い(△297)
現金および現金同等物の増減額	△575	93	668	
現金および現金同等物の期首残高	2,297	1,721	△575	
現金および現金同等物の期末残高	1,721	1,815	93	

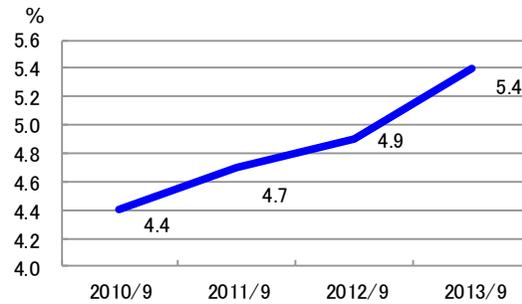
財務比率の推移

●利益の増加に伴って諸比率も改善

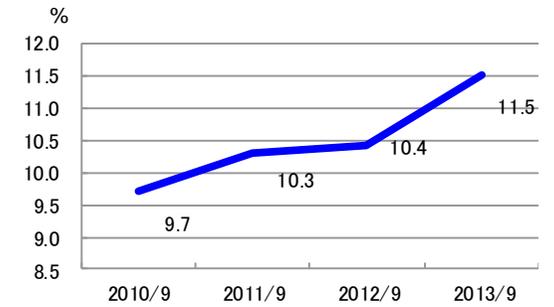
売上高総利益率



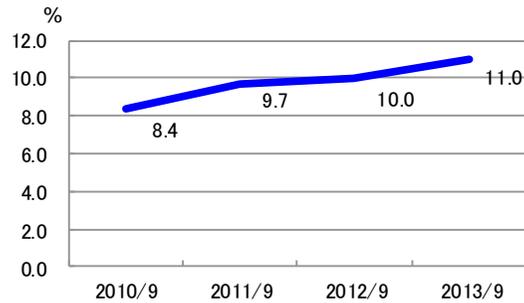
売上高経常利益率



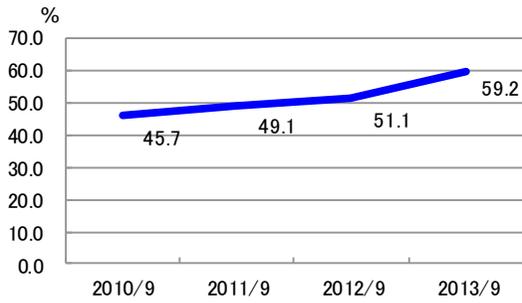
総資産経常利益率 (ROA)



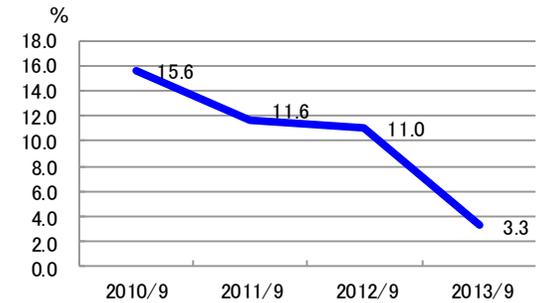
自己資本利益率 (ROE)



自己資本比率



有利子負債依存度



第二部

2014年9月期業績予想

2014年9月期 連結業績予想

- 連結ベースでは引き続き増収増益を見込む

(単位:百万円)

	実績			予想		
	2013年9月期			2014年9月期		
	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)
売上高	51,075	100.0	6.3	55,500	100.0	8.7
売上総利益	7,671	15.0	2.8	8,100	14.6	5.6
販売費及び 一般管理費	5,230	10.2	0.4	5,400	9.8	3.3
営業利益	2,440	4.8	8.5	2,700	4.9	10.6
経常利益	2,772	5.4	17.2	2,850	5.1	2.8
純利益	1,475	2.9	29.7	1,560	2.8	5.7

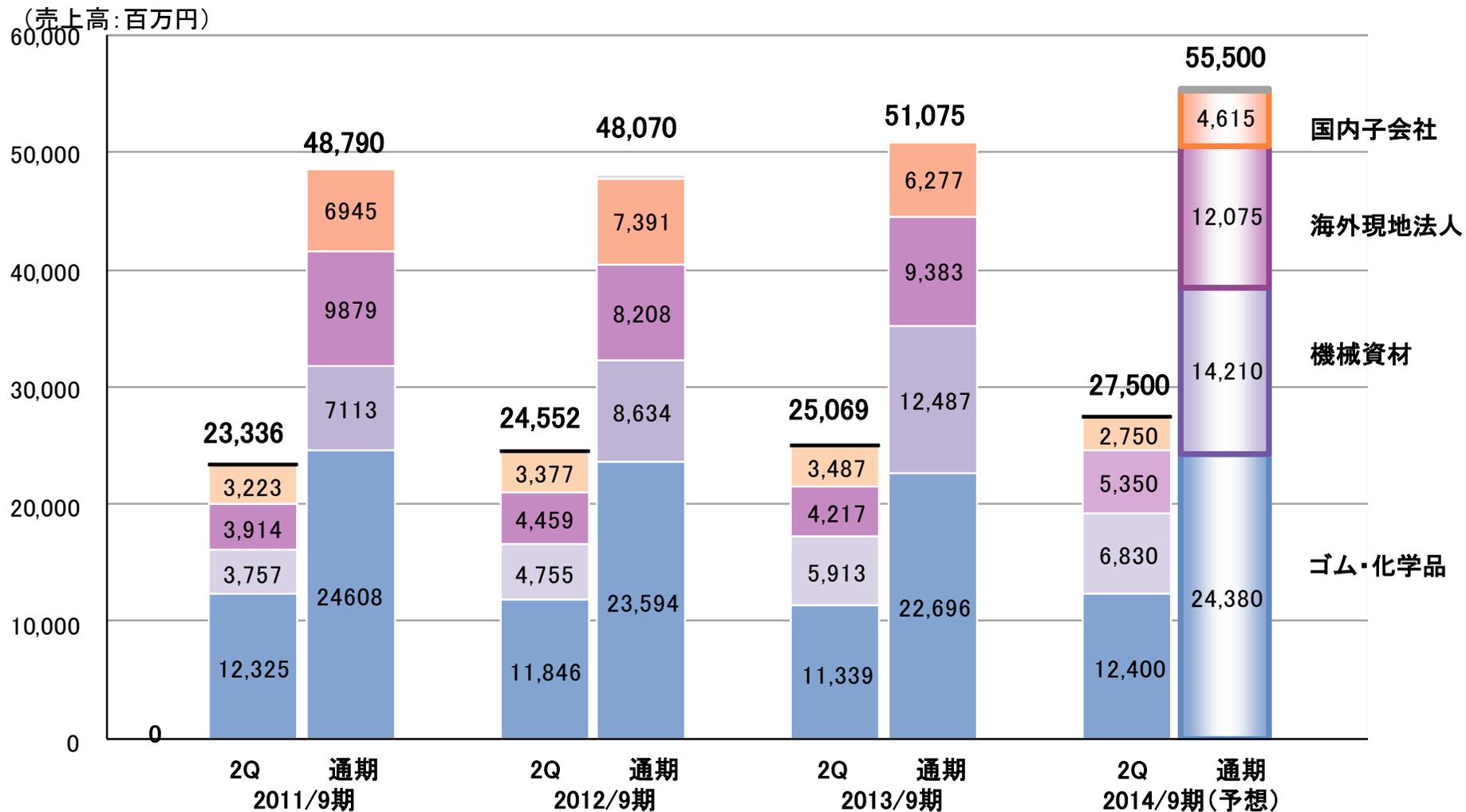
2014年9月期 セグメント別 売上予想

- 引き続き機械資材や海外現法の伸張を見込む
- 国内子会社は、コスモス商事が引き続き好調だが、アロマンとケムインターの減少が影響

(単位:百万円)

	実績			予想		
	2013年9月期			2014年9月期		
	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)	金額	構成比 (%)	前期比 増減率 (%)
ゴム・化学品	22,696	44.4	△3.8	24,380	43.9	7.4
機械資材	12,487	24.4	44.6	14,210	25.6	13.8
海外現地法人	9,383	18.4	14.3	12,075	21.8	28.7
国内子会社	6,277	12.2	△15.1	4,615	8.3	△26.5
その他	229	0.5	△5.0	220	0.4	△3.9
合計	51,075	100.0	6.3	55,500	100.0	8.7

セグメント別売上推移(実績および予想)



成長分野 自動車部品、関連原材料

● 自動車部品関連原材料

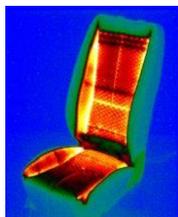
- 取扱商品： 各種合成ゴム、特殊クレー、シリコンゴム、自動車塗料用樹脂 他
- 特徴
 - 合成ゴム等一般原材料のみならず、特殊ポリマー、配合剤等、多彩な商品の取扱い
 - ユーザーへの技術的支援、共同開発も可能
 - 合成ゴム取扱いの長い実績と経験。安定供給維持のためのロジスティクス分野でも実績と経験が活きる

● 自動車シート部品関連

- 取扱商品： レザーシート、シートヒーター、ランバーサポート、シートセンサー 他



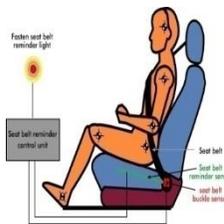
レザーシート



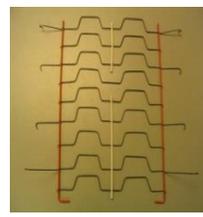
シートヒーター



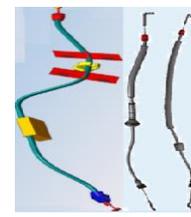
ランバーサポート



シートセンサー



サスペンションマット



シート用ケーブル



シート用モーター



内装樹脂部品

- 特徴
 - 特徴のある海外部品の発掘
 - 企画立案、開発、技術サービスで海外部品メーカーをリード
 - 立上げ、設計変更等に対するフレキシブルな対応
 - 補給品、不良品発生時の迅速な対応

戦略分野

- 海外展開強化(1): アジア展開の強化
 - タイをハブとしてアセアンとインドへ地域を横断的に業務を推進するアジアビジネス推進室を設置(10月)
 - タイに人員を増強、期中に更に追加投入予定
- 海外展開強化(2): メキシコ現地法人(Sun Phoenix Mexico) 開設(10月)
 - 自動車・部品メーカーの進出に伴い商流確保
 - SCOA(北米)との商材連携・水平展開
 - 3年間で黒字化目標
- 資源・エネルギー関連: 海洋開発関連(コスモス商事)
 - 地熱発電、近海のエネルギー(石油・ガス・メタンハイドレート)探査、金属資源(熱水鉱床等)探査、地震震源域の調査、CO₂の地中貯留プロジェクトなどに必要な機材販売とレンタルは今後も期待できる
- 環境・エネルギー関連
 - グリーンイノベーション(木質バイオマス)への展開: 林野庁補助事業「木質バイオマス加工・利用システム開発事業」に参画
燃焼効率が高い木質ペレットの本格導入に期待。ヨーロッパ、特にオーストリアや北欧では大規模に実用化されている。 関連燃焼機器取扱いも検討中

戦略分野(例) 資源・エネルギー関連(子会社 コスモス商事)

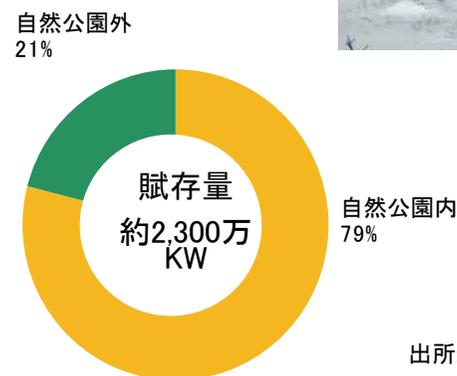
■ コスモス商事(株) (100%子会社)

石油・天然ガス・地熱・資源調査・温泉等の掘削機材・関連装置の輸入販売及びレンタル
 注力分野: 石油・ガス・海底鉱物資源探査、メタンハイドレート、地震の震源域調査、CO₂地中貯留



成長1 地熱発電を取り巻く環境

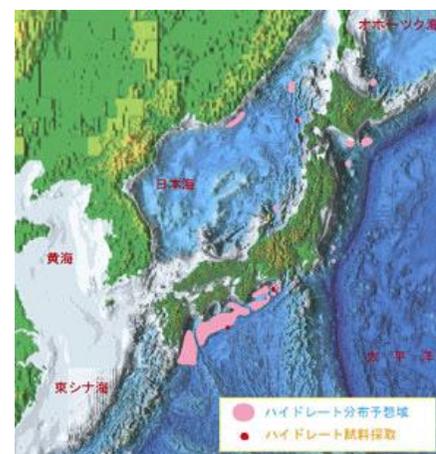
- 日本は米国・インドネシアに次ぐ世界第3位の地熱資源量を保有。発電可能立地の1割しか活用せず
- 2012年3月に自然公園における地熱開発に関する規制が緩和され、固定価格買取制度の導入と相まって、新規開発案件が出てきている



出所:産業技術総合研究所(2011)

成長2 海洋資源・エネルギー開発を取り巻く環境

- 原油価格の継続的上昇に伴い、エネルギー資源探査への開発投資額は2000年比約 5倍に増加
- 南海トラフ、東北沖等わが国近海地震震源域調査ニーズ
- わが国近海の鉱物資源探査ニーズ



日本周辺のメタンハイドレート分布

出所:産業技術総合研究所

第三部 中長期戦略

中期経営計画

成長1 環境・資源エネルギー関連

取組分野

- 資源・エネルギー開発などの探査、開発と利用に関する技術
- 木質バイオマス発電プラント
- 太陽電池部材

今後の展開

- 地熱発電関連、海洋資源・エネルギー開発関連機材の取扱い拡大
- 「木質バイオマス加工・利用システム開発事業」(林野庁補助事業)参画
- 封止材、バックシート、トップシートなどの部材開拓

成長2 生活関連

取組分野

- 医薬中間体・医療関連商材

今後の展開

- 米国アセト社との連携強化による医薬中間体商売の拡大と医薬原体(API)商売の開拓
- 食品・バイオ関連向け各種分析機器の拡販
- 医療関連資材用原材料の拡販

中期経営計画

海外展開

海外チャンネル強化

- タイにアジアビジネス推進室を設置。人員を増強し、アセアン諸国とインドの広域商売の開発、ならびにインドネシア進出検討
- 2012年のインド、香港に続き2013年中メキシコ現地法人設立、中南米進出拠点に

今後の展開

- 自動車関連商材を中心としてグローバル展開を加速
- 海外拠点間のビジネス促進
- インドネシアを始め、アセアン諸国への更なる進出を検討

M&A

M&A

- 新規事業分野への進出
- 既存事業とのシナジー
- 人材確保
- グローバル展開の一環

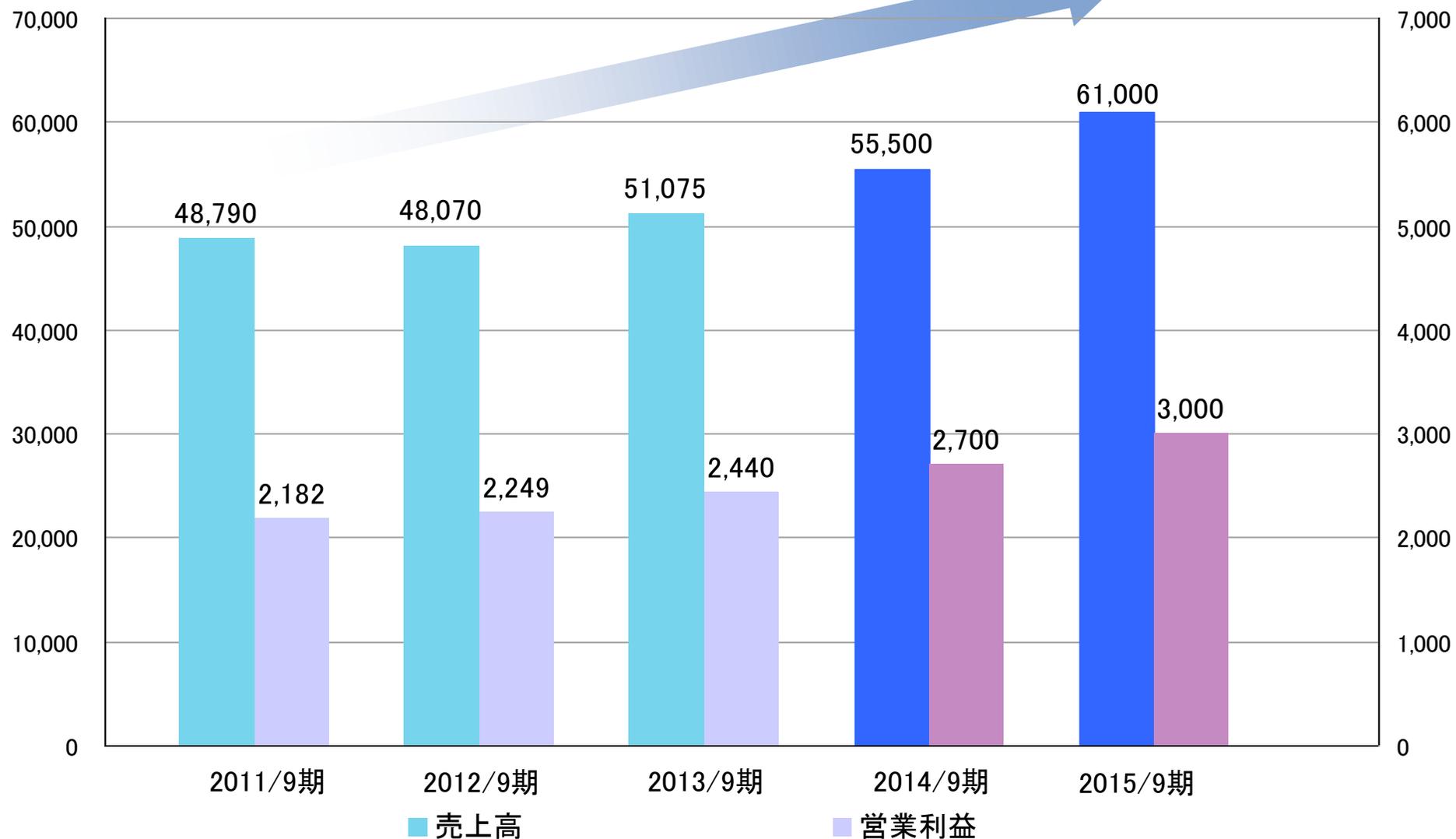
方向性

- 生活関連分野
- 環境関連分野
- 資源エネルギー関連分野

中期経営計画

(売上高:百万円)

(営業利益:百万円)

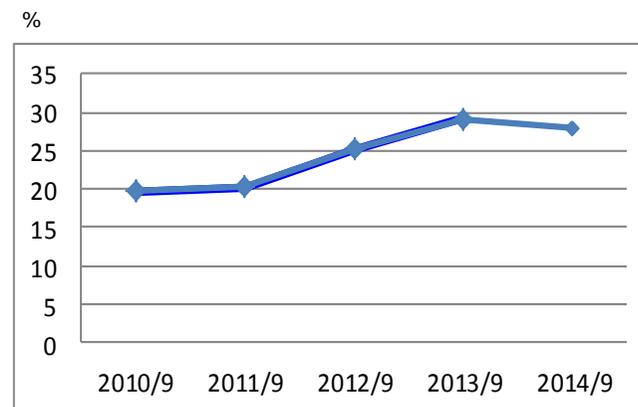


株主還元

配当方針

- 連結配当性向25%を下限の目処
- 中間配当制度を導入

配当性向



(注) 2013年9月期には記念配当(5円)を含む

1株あたり配当金予想

	1株あたり配当金予想			
	2Q末	4Q末	合計	連結配当性向
2014年9月期	15円	15円	30円	27.9%

APPENDIX

会社説明資料

1. 会社概要

会社名	三洋貿易株式会社
英文社名	SANYO TRADING CO., LTD.
設立	1947年5月
代表取締役	松本 善政
本社所在地	東京都千代田区神田錦町2丁目11番地
事業内容	ゴム、化学品、機械機器、科学機器、自動車部品その他各種商品の輸出入、国内販売を行う市場ニーズの高い商品を取り扱い、技術的サポートを得意とする
拠点	東京、大阪、名古屋、ニューヨーク、デトロイト、上海、天津、広州、バンコク、ホーチミン、ハノイ、ニューデリー、香港、メキシコシティ
売上高	51,075百万円（2013年9月期、連結ベース）
経常利益	2,772百万円（2013年9月期、連結ベース）
当期純利益	1,475百万円（2013年9月期、連結ベース）
従業員数	252人（2013年9月末、連結ベース）

2. 事業形態

ゴム・化学品セグメント

ゴム事業部

化学品事業部



機械資材セグメント

機械・資材事業部

産業資材事業部

科学機器事業部

三洋機械工業(株)

三洋テクノス(株)

国内子会社セグメント

コスモス商事(株)

(株)ケムインター

アロマン(株)

海外現地法人セグメント

北米 中南米

Sanyo Corporation of America

★Sun Phoenix Mexico

アジア アセアン

三洋物産貿易(上海)

三洋東知(上海) 橡胶

Sanyo Trading India

三洋物産貿易(香港)

San-Thap International

アジアビジネス推進室

Sanyo Trading (Viet Nam)

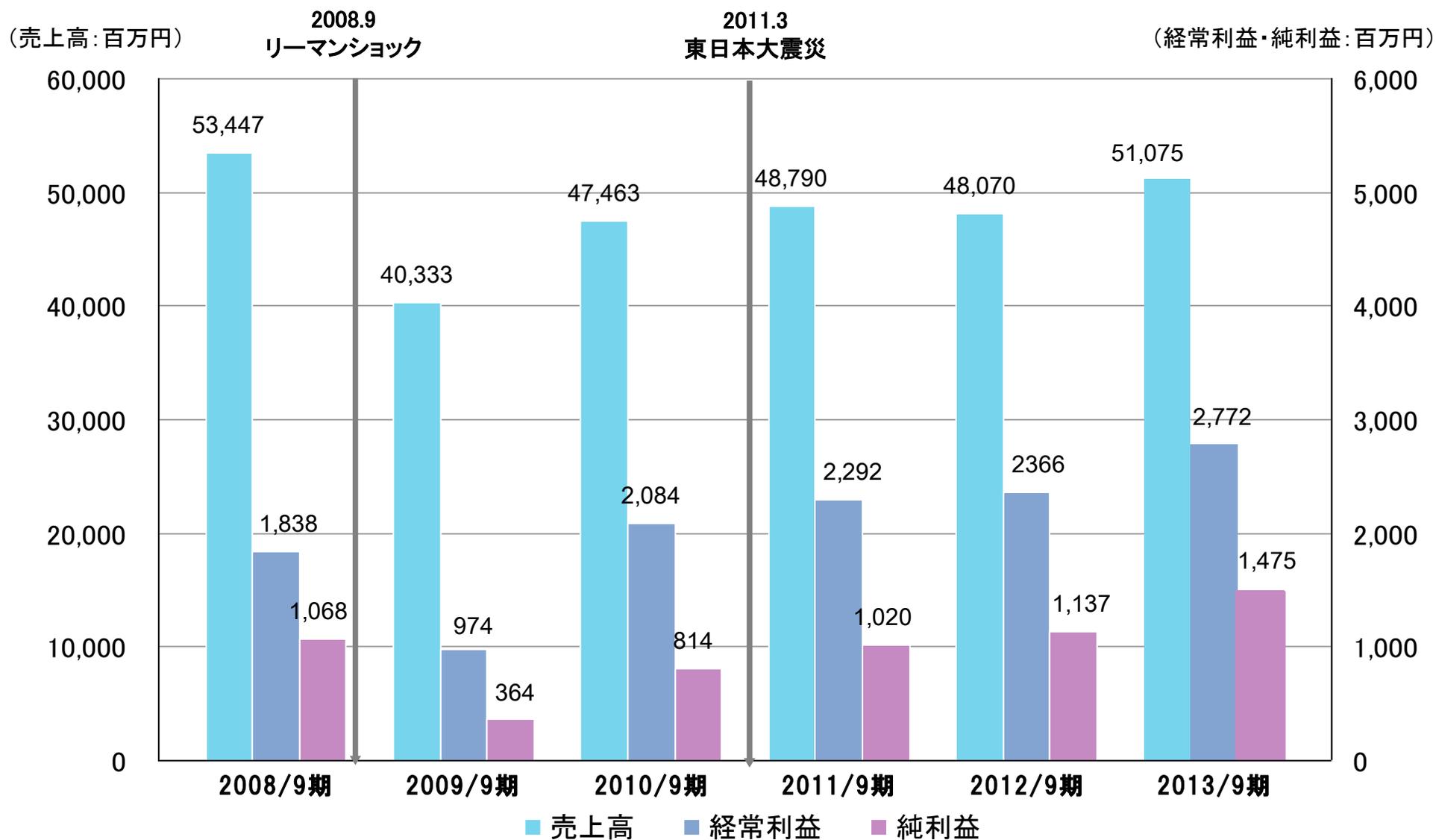
青色 は連結対象

★ 2013年に設立

3. 沿革

1947年 5月	旧三井物産の解体に伴い、同社神戸支店有志により神戸を本店として資本金195千円をもって三洋貿易株式会社を設立	2003年 12月	上海駐在員事務所を三洋物産貿易(上海)有限公司に改組
1948年 5月	東京支店を設置	2004年 1月	コスモス商事株式会社に資本参加し、発行済株式の100%を取得
1952年12月	大阪支店を設置	2004年 10月	株式会社東知との共同出資にて、三洋東知(上海)橡胶有限公司を設立
1954年 1月	ニューヨーク駐在員事務所を開設	2006年 4月	三洋テクノス株式会社を設立
1958年 8月	名古屋支店を設置	2006年 10月	株式会社ケムインターに資本参加し、発行済株式の68.52%を取得(現在76.85%)
1961年 2月	ニューヨーク駐在員事務所をSanyo Corporation of Americaに改組	2009年 3月	アロマン株式会社に資本参加し、発行済株式の100%を取得
1961年11月	本店を神戸から東京に移転	2010年 2月	ホーチミン駐在員事務所をSanyo Trading(Viet Nam)Co., Ltd.に改組
1988年 6月	バンコク駐在員事務所を開設	2011年 12月	インド駐在員事務所(ニューデリー)をSanyo Trading India Private Ltd.に改組
1989年 9月	アムステルダム駐在員事務所を開設	2012年 2月	三洋物産貿易(香港)有限公司を設立
1990年 9月	ハノイ駐在員事務所を開設	2012年 10月	東京証券取引所 市場第2部に上場
1992年10月	ホーチミン駐在員事務所を開設	2013年 10月	メキシコにSun Phoenix Mexico S.A. de C.Vを設立
2002年 8月	上海駐在員事務所を開設	2013年 10月	東京証券取引所 市場第1部指定
2002年10月	ニューリー・インスツルメンツ株式会社を吸収合併		
2003年 6月	バンコク駐在員事務所をSan-Thap International Co.,Ltd.社へ業務移管		

4. 売上・利益推移



5. 各事業の強みと特徴① ゴム・化学品セグメント1/2

ゴム事業部

主要販売先業界:自動車、情報機器 等

主要用途: タイヤ、自動車部品(内外装部品、防振ゴム、ホース、オイルシール等)、OA部品(各種ロール等)、電機部品(封口ゴム、導電ゴム等)、建材(テープ、シーラント等)ほか

注力分野: 医療器材の原材料

| 合成ゴム



| 熱可塑性エラストマー・樹脂



| ゴム補強、充填材

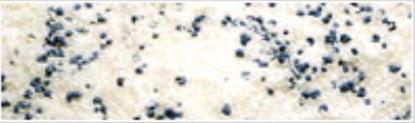


<特徴・強み>

- ・1952年 日本で最初に合成ゴムを総代理店として輸入。 ゴム産業に係る幅広い商品の取扱いを手掛けている
- ・取引先は国内タイヤメーカー、工業用ゴム製品製造の主要メーカーをほぼ網羅している
- ・合成ゴム、充填剤等の一般原材料のみならず、特殊ポリマー、配合剤等、多彩な商品を取扱う
- ・技術系営業員によるユーザーへの技術支援、共同開発も可能
- ・安定供給を維持するためのロジスティクス分野でも長い実績と経験を有する
- ・顧客の海外進出にも対応できるネットワークを構築している

主な仕入先	主な取扱商品	特徴
Lanxess	各種合成ゴム	世界No.1の合成ゴム総合メーカー、幅広い製品群を安定供給
KaMin	特殊クレー	タイヤ、工業用ゴム部品で性能向上と低コスト化を両立させる戦略商品
東レ・ダウコーニング	シリコーンゴム	耐熱性に優れ、OAロール・自動車部品等幅広い用途

5. 各事業の強みと特徴② ゴム・化学品セグメント2/2

化学品事業部	主要販売先業界: 化学、建材、自動車、電子機器 等 主要用途: 塗料、インキ、プラスチック、フィルム、医薬等 注力分野: 医薬中間体、高機能性フィルム	
 塗料・インキマーケット	 プラスチックマーケット	 接着剤マーケット
		
 医薬品マーケット	 洗浄剤マーケット	 化粧品・潤滑・放熱 マーケット
		

〈特徴・強み〉

- ・高付加価値のファインケミカルを取り扱う
- ・医薬中間体、太陽電池関連、環境対応型商品など、医薬、エネルギー、環境向けにライフサイエンス商品も展開
- ・優れたロジスティックノウハウでの物流サービス、在庫販売及びきめ細やかな技術サービスを提供
- ・海外仕入先にてトレーニングを受けた営業員による高付加価値商品の提案、用途開発ならびにきめ細かい技術サポート

主な仕入先	主な取扱商品	特徴
Shamrock	各種ワックス	インキ・塗料用の高性能ワックス
東洋紡	各種フィルム	ナイロン、PET他高機能フィルムの幅広い品揃え

5. 各事業の強みと特徴③ 機械資材セグメント1/3

機械・資材事業部

主要販売先業界： <ペレットミル>飼料、エネルギー、リサイクル
 <ホットメルト>包装 等
 主要用途： <ペレットミル>飼料製造、固形燃料製造、
 <ホットメルト>包装・パッケージング、絶縁、補修
 注力分野： 木質バイオマス次世代エネルギー開発(林野庁)



<特徴・強み>

<CPM社製ペレットミル>

- ・日本総代理店として50年以上の歴史
- ・飼料用ペレットミルのシェアは8割以上
- ・メンテナンス部隊による保守点検
- ・ペレットミル自動制御装置のソフト開発およびカスタマイズ化で他社の輸入品と差別化

<ホットメルト>

- ・国内シェア3割
- ・ガンと接着剤をセットで販売
- ・万全のアフターサービス体制
- ・ホットメルトガンのメンテが可能な商社は数少ない

主な仕入先	主な取扱商品	特徴
CPM	ペレットミル	飼料、餌料においては固形化により自動給餌が可能 保管と輸送費の節減が可能
GLUE DOTS	ホットメルトガン	電源不要。国内市場では初の商品

5. 各事業の強みと特徴④ 機械資材セグメント2/3

産業資材事業部

主要販売先業界: 自動車関連
 主要用途: 自動車用内装部品(主として高級車)
 注力分野: エアバッグ用センシングデバイス、空調シート(温・冷風)



<特徴・強み>

- ・新車の開発段階からデザインの提案や性能開発・改良に参加
- ・量産立ち上げまでの技術をサポート
- ・WET社製カーボンシートヒーターのボリュームサプライヤーは当社のみ
- ・皮革シートの厳しい納入基準をクリア
- ・契約獲得できればその生産期間は売上が見通しやすい

主な仕入先	主な取扱商品	特徴
GST	自動車用の本草	デザインから自動車メーカーと共同開発
WET	シートヒーター	カーボンファイバー仕様の市場を独占
Schukra	ランバーサポート	高い技術力で世界市場6割を占有する

5. 各事業の強みと特徴⑤ 機械資材セグメント3/3

科学機器事業部

主要販売先業界：国立研究所、防衛省、大学、石油、化学、自動車、製薬 等
 主要用途： 研究開発、品質管理、判別、危機管理
 注力分野： バイオセンサー、NBC検出器



<特徴・強み>

- ・防衛省、警察庁、国立研究所、国公立大学など、官公需要比率が高い
- ・海外の先端技術を有する多くのメーカーの優れた商品を国内に輸入、販売を行う
- ・事業部専用の保守サービス会社を保有している
- ・自社ブランド商品の開発と輸入機器のカスタマイズを行う

主な仕入先	主な取扱商品	主な仕入先	主な取扱商品
FALEX	摩擦試験機	Q-LAB	耐候性試験機
SPECTRO INC.	潤滑油劣化診断機器	PICARRO	温室効果ガス・同位体比分析計
PRESENS	非破壊酸素濃度計	ASI	二次イオン質量分析計

5.各事業の強みと特徴⑥ 海外現地法人、国内子会社

海外現地法人

Sanyo Corporation of America (米国)

北米地域

化学品、ゴム原料、自動車関連 などの取扱い

三洋物産貿易(上海)有限公司(中国)

アジア地域

自動車関連、化学品、ゴム原料 などの取扱い

San-Thap International Co., Ltd.(タイ)

国内子会社

コスモス商事

石油ガス開発、海洋開発、地熱開発、温泉開発などの機材の取扱い



<注力分野>

海底鉱物資源探査

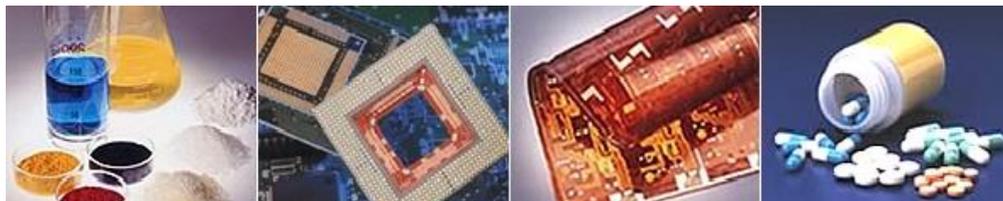
メタンハイドレート

地震の震源域調査

CO₂ 地下貯蔵

ケムインター

精密化学品、医薬中間体 などの取扱い



<注力分野>

液晶・電子材料

精密化学品

アロマン

電子部品、EMS などの取扱い

6.技術サポートと子会社

三洋貿易株式会社(親会社)

- メーカー並の技術的サポートが可能
- 技術系商社として開発段階から参加
- 営業員の40~45%が技術系

1973年 三洋機械工業株式会社設立(機械・資材事業部)

- 機械・資材事業部が販売したペレットミルのアフターサービス
- ペレットミル付帯機器の設計・製造、消耗部品の保管基地
- 伊勢原新工場で木質バイオマス用テストプラントを設置



一層きめ細かいサービスが可能となり、市場占有率の高い商品に貢献

2004年 三洋東知(上海)橡膠有限公司(ゴム事業部、非連結)

- 中国における日系企業向けゴムコンパウンド事業の拠点、80%出資
- ゴムコンパウンドの製造・販売
- 主な用途:自動車、家電、情報機器、建築用ゴム部品



日系進出企業との新規取引、高品質要求先の開拓

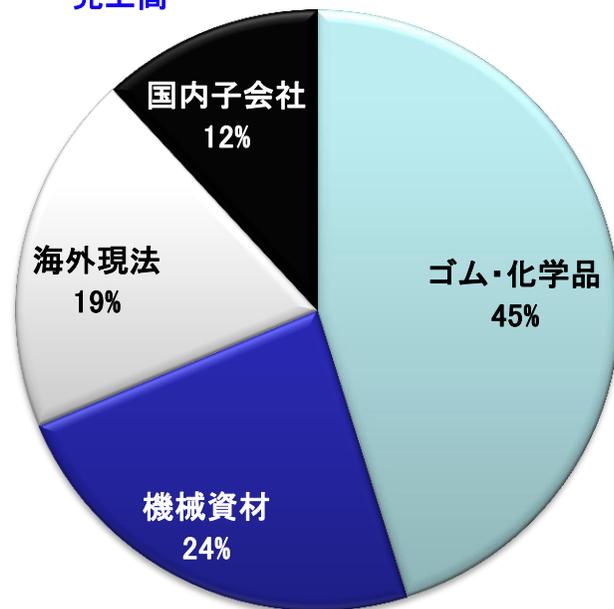
2006年 三洋テクノス株式会社(科学機器事業部、非連結)

- 分析・測定・試験機器の改良、設計、アプリ開発、設置据付、試験運転、トレーニング、検収作業、保守など

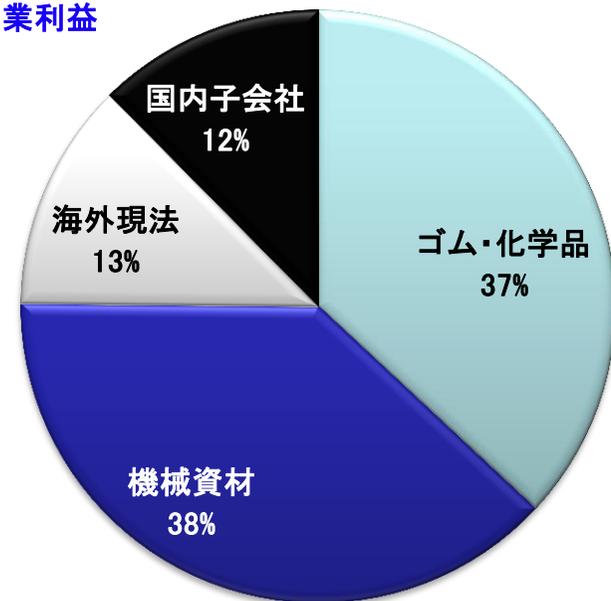


7. 事業ポートフォリオ

売上高



営業利益



セグメント別売上実績

2013年9月期					百万円
ゴム・化学品	機械資材	海外現地法人	国内子会社	その他	
24,358	12,684	10,474	6,393	257	

セグメント別営業利益実績

2013年9月期					百万円
ゴム・化学品	機械資材	海外現地法人	国内子会社	その他	
1,057	1,094	357	354	142	

ご清聴ありがとうございます

IRに関するお問い合わせ先

三洋貿易株式会社 執行役員 経営企画室長 白井 浩

電話:03-3518-1101 e-mail:ir@sanyo-trading.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。